

# 協力しあって楽しい婦人部活動を — 地域の中で 地域の方達と共に —

美 浜 漁 協 婦 人 部  
部 長 森 川 良 子

## 1. 地域の概況

私達の美浜町は、福井県の西南部に位置し、東は敦賀市、西は三方町で若狭湾に面し、リアス式海岸特有の美しさと三方五湖の湖沼、河川の清流など海、山、川の変化に富んだ自然景観に恵まれた地域であり、町内には丹生、菅浜、美浜、日向の4漁協が存し、各漁協とも共同経営などの定置網が主幹漁業である。近年、民宿、遊漁案内など兼業者も多く漁業、観光中心の地域である。最近、1市町村1漁協に再編することで、合併促進の動きが急速に盛り上がっている。

## 2. 漁業の概況

当美浜漁協地域は、漁業の基盤となる1、2種の漁港があり、昭和39年町内隣接集落早瀬、坂尻、和田の3小漁協で小規模な合併が行われ、現在87戸の漁家による漁協の組織となっており、中型定置網、刺網、延縄、一本釣、採介藻漁業が主漁業であったが、他の町内漁協と同様、近年、民宿、釣船、釣筏等の伸長に伴い、今ではこれらの観光漁業が地域の漁業の主体となっている。

## 3. 婦人部の組織と運営

私達の婦人部は、昭和34年に漁協の貯蓄増強を目的に結成され、現在に至っている。部員は51名で、役員構成は部長1名、副部長3集落より各1名で3名、計4名で常に漁協組合長はじめ部員の方々の協力を得ながら婦人部の運営や活動に当たってきた。

しかしながら、婦人部活動の停滞、マンネリ化に悩んでおり、平成9年よりこの打開に向け部員達が知恵とアイデアを出し合おうと従来の活動内容を見直すとともに、団結を強くしてきている。

また、昭和35年には町内6漁協婦人部（現在4漁協婦人部）の連絡協議会を結成、県、町、美浜町水産振興会のご協力や援助を頂きながら運営や活動を行っている。

## 4. 活動課題選定の動機

平成9年3月、総会において部長になった。年の順なら仕方がないのかなという気持ちと同時に、ズシリと何か重いものが肩に乗った様な感じがした。「何もわかりませんが宜しくお願いします。」と挨拶をした時、会場から「部長と言うもんはそんな簡単なもんじゃない」と言う声が聞こえてきた。この時のこの言葉がいつも私の心の中に残り、

今日に至っている。今になって思えば、この言葉が励みとなり、頑張っただけの様に思う。

まず、役員会において活動計画について話し合った。話題の中で、部員の中には漁家婦人もいればサラリーマンもいる。最近、部員の中にも魚のおいしい食べ方、料理の仕方、名前等を知らない人がいる。部員が魚料理についてどう対処しているのか魚についてのアンケートをとってみようということになった。あわせて部員が婦人部活動をどう思っているのかを知っておくべきであるということでも話がまとまり、魚料理と婦人部活動の二点についてアンケート調査を実施した。

結果は、51名中48名の解答があり、別紙のとおりでしたが、婦人部活動に対する意見は、「無回答、良くわからない、特になし」が25名もいた。多かったのが料理教室7名で、あとは編物2名、その他11項目に各1名ずつという結果だったことを皆に知らせた。その他の意見の中には、「集まるということは、例え井戸端会議にせよとてもよいことだと思う」、「月に1回くらい海岸沿いの清掃をしてもよいと思う」、「集落が離れているので、人集めに苦労すると思う。私はできるだけ出席したい」等々とても良い意見があり、役員達だけの考えだけでなく、他の人の意見も知ることができ、アンケートをとってみて本当に良かったなと思った。婦人部活動が、ただただ行事に追われるのではなく、目的を持った活動をしよう重点活動を選定することにし、「地域とのふれあいを大切にしながら、魚食普及、環境美化を重点とする」ことに決定した。

そこで、具体的にはどうするのかを話し合ったところ、地域とのふれあいを視点において婦人部活動を啓蒙推進するには、地域のイベントに参加するのが一番ということになったが、振り返ってみると今までも各種イベントには動員等がかかり、手伝い等何らかの形で参加していたのである。しかし、今回は参加だけではなく、企画し婦人部自身が企画するコーナーを獲得し、婦人部活動の啓蒙推進をはかることで意見がまとまった。

## 5. 実践活動状況及び効果

### (1) 過去2か年の文化祭への取り組み

美浜町が毎年開催している文化祭に、これまで私達部員はただ会場に訪れ、何気なく催し物を見るだけの一町民にしかすぎなかった。しかし、97年、98年の文化祭は違った。私達美浜漁協婦人部は、活動目標である魚食普及と環境美化を啓蒙するため、私達自身が企画したコーナーを獲得したのである。まず、積極的に取り組んだ一昨年の97年文化祭には、魚食普及では魚の栄養をパネルで図示した。また、美浜町でとれる魚を知ってもらおうと漁協、漁師さんそして町内4漁協婦人部に協力を依頼し、月別の表にまとめた。これらのパネル展示は、見て大変よくわかると評判がよく、このパネルは現在小学校で使われている。

環境美化については、部員全員の協力で300個の亚克力タワシをつくり、文化祭に来られた方に「環境にも人にもやさしいタワシ」とメモを添えてプレゼントした。また、婦人部員の家で眠っているハンカチを提供してもらい、かわいいポプリピエロ作りを行った。婦人部員が作り方を伝えて、小学高学年から80歳のおばあちゃんまで自分

で作り、喜んで持ち帰られた。その他、「魚を食べてイキイキ健康」、「漁協婦人部って何?」、「私達の森と川と海をつなぐ環境保全運動」のパンフレット三種を置いて自由に持ち帰ってもらった。

町内のいろいろな方との出会いの場を持つことができた上に、多くの方々とのふれ合いによって私達婦人部員もたくさんのことを学ばせて頂いた文化祭になった。魚食普及関連のパネルは、産業祭にも展示し、魚の良さをアピールすることができた。

今年の'98文化祭には、環境保全をメインに啓蒙することに決めた。まず、啓蒙したいことは石けんと合成洗剤の違い、そして石けんの特徴などである。項目ごとに部員が手分けしてまとめ、手作りのパネルが完成した。目で見ただけでなく、耳からもということになり、県漁婦連から環境保全に関するビデオを借り上映し、多くの町民の方に見ていただいた。訪れた町民の多くは、石けんに対する知識が薄く、パネルを見てビックリしたり、感心したりし、このコーナーに足を運んだことを喜んでいた。また、折角足を運んで下さる方達との楽しい交流もしたいと思い、何か良い案がないかと相談したところ、部員の中から、民宿に來られたお客さんから習ったというかわいい“くつ”の折り方や、環境保全の面からゴミになるものを再利用するというので、ビールの王冠、はぎれ、牛乳パックを利用したコースターや鍋敷きの作り方を紹介し、これらを会場に訪れた方達と一緒に作ろうと話がまとまった。そこで、まず部員に集まってもらい講習会です。当日は、覚えただけの作り方を、冷や汗を流しながら訪れた町民に教えている部員のほほえましい姿も見られましたが、4、5歳の子供がお父さん、お母さんと來たり、デイ・サービスへ行っているおばあさんが、「また施設の仲間に教えてあげるわ。」と言って“くつ”やコースター等を喜んで作って行かれた。小・中学生も來た。小学生の女の子が部屋から出る時、「文化祭って楽しいんやな。」と独り言の様に言っていた。今回もたくさんの方との楽しい出会いの中での環境保全の啓蒙推進ができたと思っている。'97、'98文化祭の経験を踏まえ、'99文化祭では、「美浜町の漁業の今昔」を紹介しようと話し合っている。

## (2) 子供夜祭りへの参加

役員会での話題の一つに、「今、青少年の育成がどこの地域でも大きくとりあげられている。私達漁協婦人部も後継者問題を抱えていることでもあり、子供達との関わりを持った活動ができないか」、「地域の子供を地域の中で育てようと、この頃よく言われるが、美浜の子供達と何かできたらいいネ」との事。「子供との関わりを持った活動」について模索し始めたが、その場では良い案は出ず、各集落へ持ち帰って部員達の意見を聞くことになった。再度の協議で、子供夜祭りに参加し、婦人部コーナーを設けることにした。ここでのメインは、子供達に楽しんで福井の魚を知ってもらうことと、環境保全の啓蒙である。そこで部員達に呼びかけ、知恵とアイデアを出し合った結果、「越前・若狭旬のさかな17種」で魚釣りを企画し、釣った魚によって引くことができるくじの景品を工夫した。とは言っても本物の生きた魚ではなく、厚紙で魚を作り、青い大きなビニールで囲って槽を作った。釣り糸がからむ等のハプニングもあったが、たくさんの子供達が喜んでくれてとても嬉しかった。三匹釣れたら三角くじで景品です。この景品は、台所用洗剤、クレンザー等の石けん製品や婦人部員手作りのお手玉、ティッシュカバー等である。1等から7等まで作り全ての景品の中に、「海や川をきれいにしま

しょう」等の言葉を添えた。また、お手玉と一緒に美浜町の懐かしい童歌も入れた。この催しは、千名の入場者があり、その中で魚食普及、環境美化、海を大切にという事が少しでも伝わったのではと思っている。「来年もまたやってナ」という子供の言葉に部員達も気を良くし、もう話題は来年のことになっていた。

### (3) 婦人部だよりの発行

97年12月、活動を振り返り、いろいろな活動があったことを参加できなかった部員にも知ってもらいたいと、「婦人部だより」を発行することにした。折角発行する婦人部だよりだから、町内4漁協婦人部の連絡協議会で発行しようということになり、名前は「美浜町漁協婦人部だより」と決まった。4漁協婦人部から1名ずつが編集委員となり、企画編集を行った。婦人部だよりには、講演会の内容や石けんについての知識、婦人部員の味自慢（料理の紹介）等々、B4用紙の両面を絵や文字で埋め尽くしているが、とにかく部員手作りの機関紙ができあがった。発行部数約200部、配布先は部員はじめ漁協や役場である。絵、文字ともに手書きなので読みづらいと思うが、読者からは親しみやすい婦人部だよりであると大変喜ばれている。この婦人部だよりは、98年4月に2回目を発行し、現在3回目の発行に向け、編集中である。

### (4) その他

昨年7月20日の海の日を中心に、県漁婦連が油流出事故にかかる多くのボランティアへの感謝を込めて、越前・若狭旬のさかな17種と、海や川をきれいにしましょうと書いたシール入りポケットティッシュを作成し、県下小学校や地区、また各種イベントにと私達婦人部の手で配布できたのも嬉しく思っている。

その他、久々子湖で開催されるレガッタ大会には、シロサバフグ（キンフグ）の唐揚げと味噌汁を提供し、産業祭には丹生、菅浜、美浜、日向の美浜町漁協婦人部連絡協議会で魚料理の紹介や即売を行った。また、他漁協婦人部との交流会を開催し、魚の加工や環境美化活動について意見交換を行ったり、講演会を開催する等魚食普及や環境保全の啓蒙に努めた。

福祉社関係では、社会福祉協議会へ使用済みのテレホンカードや古切手を集め、2回お渡しすることもできたし、レガッタ大会での売上金の一部を寄付することができた。今後も、福祉面について出来ることをやっていきたいと思っている。

## 6. 波及効果

イベントに参加した部員達は、「忙しい中での参加であったけれど、地域の人達、地域の子供達の嬉しそうな顔が次の活動への意欲を持たせてくれた」、「あまり対話は得意じゃなかったけれど、人とのふれあいは予想以上に楽しかった」、「自分自身が貴重な体験をさせてもらった」等々の発言があり、婦人部だよりの発行については、「文字によりいろいろな内容を知ることができ、婦人部活動が目に見えるようであった」、「今後もできるだけ活動に参加したいと思った」と述べてくれた。

地域においては、今までは漁協婦人部の存在が薄かったが、地域イベントに参加し、町民はじめ多くの方達とのふれあいによって、漁協婦人部の存在ばかりでなく、活動までも知って下さるようになった。また、婦人部だよりの発行により、地域の方達の目に

も触れ、それが婦人部の存在を大きくしたように思う。

## 7. 今後の課題

これまでの活動を振り返ると、一人ではできなくても婦人部活動だからできる。皆が力を合わせれば大きな力となる。私は料理も編物も得意ではないけれど、婦人部員の中に“先生”がいる。「それなら出来るよ。」と言ってくれる方に指導して頂く。知恵やアイデアを出し合い、学んで皆で行動すると素晴らしい活動ができると実感した。婦人部活動と共に、年代の違う婦人部員の集まりの中で、家庭の事、料理のこと、村の行事等さまざまな話に花が咲き、学ぶことが大変多い。いろんな方達との人交わりが自分自身の成長につながるように思う。

地球温暖化、環境ホルモン、ダイオキシン等々の言葉が目や耳に飛び込んでくる。海に囲まれた日本。婦人部としてもいろいろ学びあい、美しい海を、自然を、子供達にと願わずにはおれない。

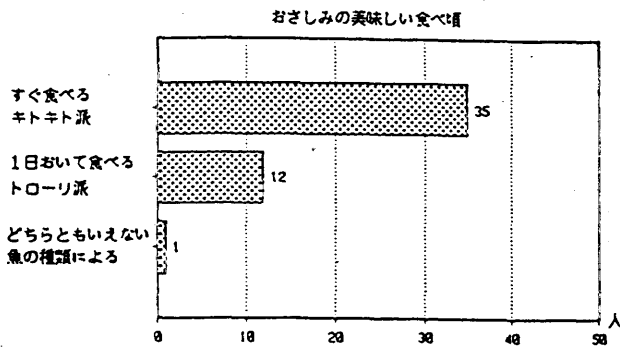
美浜漁協婦人部アンケート結果報告について

美浜漁協婦人部

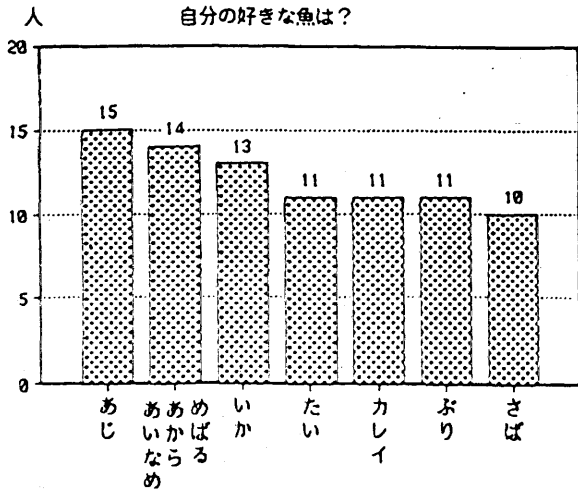
風さわやかな季節となりました。心配しておりましたロシアタンカー重油流出事故の影響もほとんどなくなり、いつもと変わらぬ美味しいワカメや魚を頂いています。

先日は突然のアンケートだったのですが、51名中48名の方より解答を頂き嬉しく思っています。とても良い意見がいろいろありましたので報告させていただきます。

1. おさしみの美味しい食べ頃 どちら？
- ・すぐ食べるキトキト派 35名
  - ・1日おいて食べるトローリ派 12名
  - ・どちらともいえない、魚の種類による。 1名



2. 自分の好きな魚は？
- 人気のあった魚ベスト7
- 1位 アジ 15票
  - 2位 めばる、あから、あいなめ 14票
  - 3位 いか 13票
  - 4位 たい 11票
  - 4位 カレイ 11票
  - 4位 ぶり 11票
  - 7位 さば 10票
- その他 はまち、ひらめ、すずき、きす、たなご、たち魚、あまだい、たこ、皮ハギ、かます等で海の魚はなんでも好きですという意見もありました。

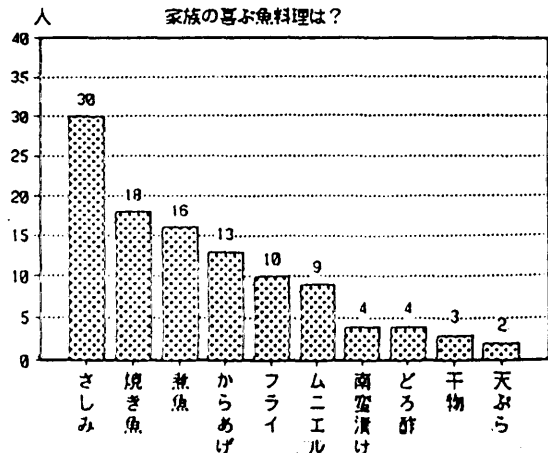


3. 家族の喜ぶ魚料理は？
- 人気のあった魚料理ベスト10
- 1位 さしみ 30票
  - 2位 焼き魚 18票
  - 3位 煮魚 16票
  - 4位 からあげ 13票
  - 5位 フライ 10票
  - 6位 ムニエル 9票
  - 7位 南蛮漬け 4票
  - 7位 だる酢(ぬた) 4票
  - 9位 干物 3票
  - 10位 天ぷら 2票

(その他の料理法)

- ・さけのみそかす漬け
- ・いわしの生姜煮
- ・あじの塩焼、からあげ
- ・ホイル焼
- ・酒むし
- ・たたき
- ・鯖の甘辛煮(ネギも一緒に煮る)
- ・なべ物
- ・プリのさしみ
- ・すし
- ・あら煮
- ・白身魚のタルタルソースかけ
- ・てっちり
- ・魚すき
- ・鯛めし
- ・水たき
- ・くずあんかけ
- ・いわしの甘露煮
- ・プリ大根
- ・塩辛
- ・ししゃもの磯辺あげ
- ・魚の味噌汁
- ・新しいので下手に手を加えず食べたら美味しいと思う。
- ・魚料理は何でも喜ぶます。

という意見もありました。家族の喜ぶ料理法についていろいろあり、婦人部の皆様方が先生になって教えて頂けたらと思います。



4. 初めて魚を料理した時 いやだった事、困った事は？

- ・生くさいのがいやだった。 11名
- ・魚のうろこが取りにくかった。 5名
- ・生きている魚を料理する時はねた。 4名
- ・腹ワタを出す時 3名
- ・うろこが飛び散る。 3名
- ・三枚におろすのが難しい。 3名
- ・特にない。 5名

(その他)

- ・この魚はどうして食べるのか解らなかった。
- ・生きている魚に包丁を入れて血を見た時
- ・魚が跳ねてウロコが取れない時
- ・血が飛び散って手に付いた匂いが取れない時
- ・生きている魚を料理するのは今でもイヤです。
- ・なまこの料理をするのが気持ちわるかった。
- ・新鮮なものとそうでないもの見分けが最初わからなかった。
- ・たこのぬめりと足のまつわり。
- ・平目やカレイの刺身に苦労した。
- ・アジフライの時腹びらきを知らず、背開きにして出来上がった形が逆だった。(20年前)
- ・若い時は魚料理の後石けんで洗ってばかりいたが、今ではそのままでも平気になった。
- ・魚のえらや背びれが刺さって、バンソウコウだらけの手になった。
- ・魚料理の方法がわからなくて何からしてよいかわからず困った。
- ・特にない。子供の頃から手慣れていたせいかな？
- ・私は魚が好きなので料理には困ったことは有りません。楽しいです。
- ・魚が好きなのであまり苦になりません。

等々

5. 婦人部活動に対する意見

- ・料理教室 7名
- ・編み物 2名
- ・行事の料理(法事、祭り等) 1名
- ・簡単な手芸講習 1名
- ・軽い運動 1名
- ・町内企業見学 1名
- ・習字 1名
- ・ボランティア 1名
- ・パソコン講座 1名
- ・花作り運動 1名
- ・健康食についての講演 1名
- ・若い人達で社交ダンスは？ 1名
- ・レクリエーション 1名
- ・無回答 18名
- ・特にない 6名
- ・わからない 1名

(その他意見)

- ・集まりという事はとてもいいことだと思います。(例え井戸端会議にせよ) いいお話も聞きたいし、手仕事も習いたいし、展覧会見学もよいし、時間のある限り人の中に出て話し合いたい。
- ・月に1回くらい海岸沿いの清掃をしてもよいと思う。
- ・漁協婦人部の場合、地域性、年齢、家の諸事情等があり集まることがなかなか難しい。
- ・何か活動するにしても、部落が離れているので人集めに役員さんが苦労する。でも何事にも計画された行事には参加したい。
- ・なにかしたい。
- ・役員さんに任せます。
- ・今までどおりでよい。
- ・直接漁業に関係している方が少ないので、活動方針が難しいと思う。役員の皆様お疲れさんです。
- ・旅行等に行ったら行けない人にお土産を買ってきたほうがよいと思う。
- ・ゴキブリだんご毎年作って頂いて有難うございます。おかげで我が家は1匹も見ません。

以上です。ご協力有難うございました。これからもよろしくお願い致します。



皆人にて作ったアクリルメシ. 174.10

早瀬地区は夜組合の2F  
に集まって作り出した。

秋の夜長  
本日はおしゃべりな夜と  
今夜は仲間と楽しいひととき。

和田 取別は一人一家で  
全部で300ヶ以上出来た。



美浜漁協婦人部の皆人にて  
作ったタワシです。

お一人様一ヶ

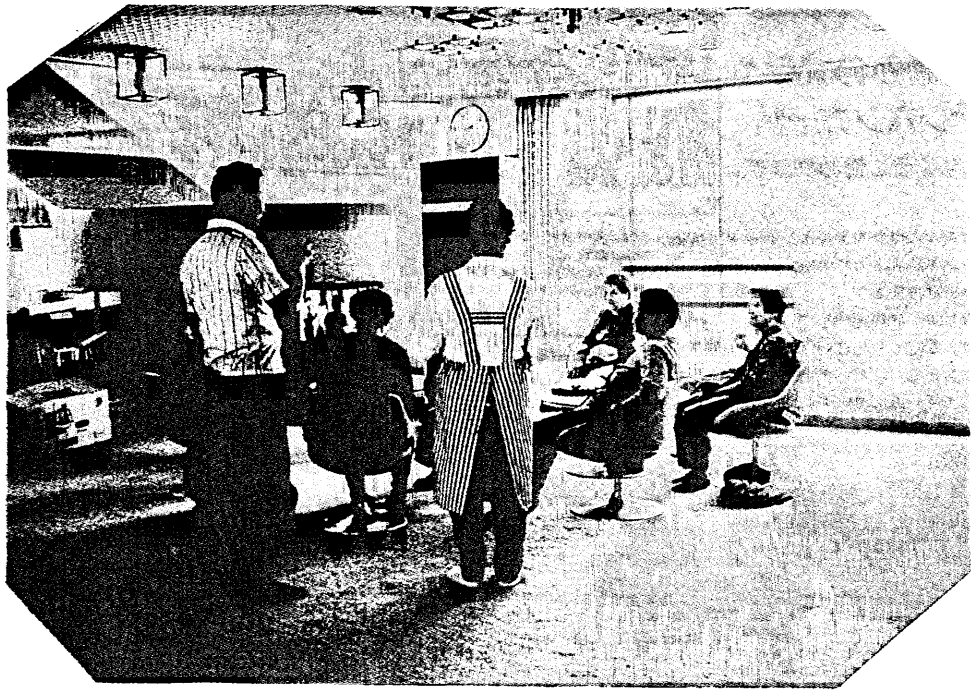
お持ち帰り下さい。

- 油のついでアクリルは、洗剤で洗った後から
  - 糸の色は、酢酸に
- 5分ほど洗った後で乾かしたら……。



〔地域イベント参加〕 平成10年8月29日(土)  
—美浜町子ども祭で 魚つりゲーム(賞品付き)—  
つり糸がからみ. 予期せぬ 170ニク"でしたか" 人気か  
ありました





### 〔合成洗剤追放運動〕

平成10年  
—ビデオ鑑賞— 老人の集いに。

月に2回、丹生地区下の老人の集いがあります。  
民生委員、福祉委員、区長さんの指導で  
午後の2〜3時間を楽しく過ごされています。  
その中にビデオ鑑賞を取り入れてもらいました。

### 〔合成洗剤追放運動〕

平成10年6月17日(水)  
—地元企業、関西電力へのわかお普及PR—

10名参加。音頭参事、水上会長、北島事務局が  
快く引き受けて下さり、遠方をおかけ下さりました。  
環境月間という事で、発電所内見学という  
貴重な体験もさせて頂きました。  
会議室では「わかお推進用ビデオ」を鑑賞してもらった。

# 美浜町漁協婦人部だより

平成九年十二月

美浜町漁協婦人部連絡協議会会長

山本民子

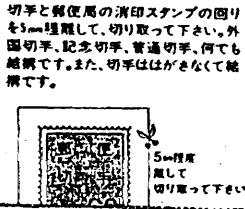
節走に入り、何だか心せわしく感じること頃です。今年も主な行事を終え、活動を振り返ります。役員だけが知っているはもったいない、各支部の頑張りの様子も皆集りにお伝えしたい活動がありました。ぜひ部員の皆様にもお伝えしたい。お便りを発行する事に致して、今月八日に「使用済」の切手と郵便局の消印スタンプの切り取り、記念切手、普通切手、何でも結構です。また、切手ははがさなくて結構です。

届けて頂きます。一人ひとりで、あれだけ沢山集めること、お便りも来手もぜひ行なうて下さい。

使用済みの切手や  
テレホンカード  
こんなふうに使われます。



使用済みの切手やテレホンカードを集めて、一体何に使うのですか。と、最近、問い合わせがあります。社協では、毎月発行している「社協だより」で、届けていただいた方々のお名前をご報告させていただいています。今月号では、その使い道について紹介します。



今年十一月八日、九日に行なわれた美浜町産業界には、両日計四十人の婦人部員が参加。美浜町で良味、美味い魚で、必ず、手際よく仕上げます。と、意気込み。町民の方達も、よくさん買に来た。下まつて、因に合おな、時

いさ、いさ、海のかあちゃん達  
おいし、いもの見つけた!!  
今年十一月八日、九日に行なわれた美浜町産業界には、両日計四十人の婦人部員が参加。美浜町で良味、美味い魚で、必ず、手際よく仕上げます。と、意気込み。町民の方達も、よくさん買に来た。下まつて、因に合おな、時

今年度お世話にはなる皆様を知紹介致します。

- 美浜町水産振興会 会長
- 美浜漁協 組合長
- 高橋 治氏
- 宮次漁協 組合長
- 口本 勇義氏
- 日向漁協 組合長
- 金森 真一郎氏
- 丹生漁協 組合長
- 橋本 岩雄氏
- 美浜町役場 水産課 担当
- 西村 康政氏

## 私達も 環境保全を心がけています。

います。  
和子さん  
（から、おに、色、おいて、み、した、ポ、ル、の、底、に、残、っ、て、い、ま、し、た、に、は、い、の、で、は、な、は、ア、と、思、い、ま、し、た、森川）

フライパンの油汚れ落とし  
フライパンを使い終わったら、まだ熱い内に、テッシュ紙を取り、熱いお湯で流す。この時、洗剤を使わなくても、きれいになります。食器類を洗う時も、洗剤の原液は使わず、いつも3~4倍にうすめています。手あれも少ないです。美浜町漁協婦人部 坂元 倉田 俊子 さん

（お）種（お）つ（お）  
おに、前、から、漁、連、の、固、型、石、ケン、を、使、っ、て、い、ま、す。料理の前、に、手、洗、い、し、て、も、無、香、料、の、は、た、え、に、は、ら、な、い、し、肌、に、と、て、も、優、い、で、す。ど、う、ら、か、と、言、う、と、敏、感、肌、し、は、の、で、も、ろ、ろ、ん、お、風、呂、も、使、っ、て、い、ま、す。美、浜、漁、協、組、合 坂、元、俊、子、さ、ん

